

芸術学科桐原さん 平成 31 年度全国高校総体

シンボルマーク部門 最優秀賞

6月23日(土)、芸術学科3年1組の桐原 里奈さん(五十市中出身)が、平成31年度全国高校総体シンボルマーク部門で最優秀賞に選ばれ、河野知事を表敬訪問しました。この作品は南九州4県(熊本・宮崎・鹿児島・沖縄)で開催される、全国高校総体のシンボルマークに採用されます。ゴールテープを切る選手と応援する人々を追い風に見立て、全体を構成する8つの図形は九州8県を表現し、4色の色使いは開催地4県をイメージしています。

平成31年度の全国高校総体で多くの部活動が全国大会で活躍を願い作成されました。



桐原さんが制作したシンボルマーク(写真上)と児玉さんがデザインした総合ポスター図案



桐原里奈さん



児玉晴香さん

19年南九州 高校総体

シンボルマークとポスター

本県生徒の図案選出

南九州3県(鹿児島・熊本、宮崎)と沖縄県で2019年に開催する全国高等学校総体体育大会(インターハイ)で使用するシンボルマークと総合ポスター図案が本県に選ばれた。23日、2人が県庁に河野知事を表敬訪問し、報告した。

桐原さんの作品は、ゴールテープを切る選手と、応援する人々を追い風に見立てた。全体を構成する8つの図形は九州8県を、使用した4色は開催地4県を意味する。桐原さんは「これまで自分のやつて来たことが報われたようでうれし」と喜びを語った。

さん17の作品。桐原さんの作品は、ゴールテープを切る選手と、応援する人々を追い風に見立てた。全体を構成する8つの図形は九州8県を、使用した4色は開催地4県を意味する。桐原さんは「これまで自分のやつて来たことが報われたようでうれし」と喜びを語った。

バソコを使ってデザインした児玉さんのポスターは、空の青と情熱を表す赤を配置。力いっぱい踏み出す瞬間を表現するため、テッサン人形を用いて写真を膨らませ、イメージを膨らませた。「自分が受賞するとは思っていなかった」と

宮崎日日新聞

6月23日 掲載

驚いていた。開催地4県の高校連体が、県内から中学生と高校生を対象に、大会総括、スローガン、シンボルマーク、総合ポスター図案を募集。大変誇らしい2人をお手掛けた。

川原智美

応募が寄せられた。県高大会は「感動は無」に、南九州総体2019、スローガンは「響かせろ、我らの魂」。

南の空へ、それぞれが手掛けた。